

回覧

令和6年3月15日号
主催 重原地区委員会

古紙類資源回収について（お願い）

1. 回収日 4月13日（土）

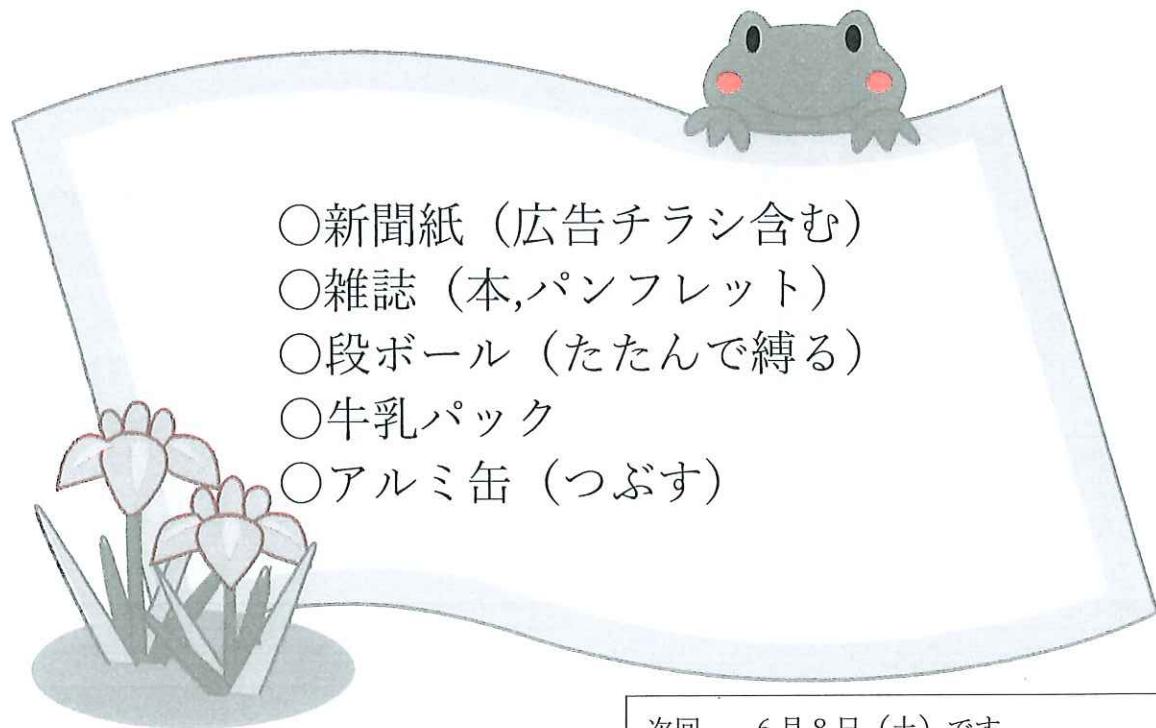
少雨中止 予備日無し

収益金は、地区の子ども会や女性部等に還元される行事です。

2. 時間 午前8時～9時頃

3. 場所 重原市民館駐車場

4. 回収作業担当 重原本町地区



- 新聞紙（広告チラシ含む）
- 雑誌（本、パンフレット）
- 段ボール（たたんで縛る）
- 牛乳パック
- アルミ缶（つぶす）

次回 6月8日（土）です。
担当 下重原町
問合せ 地区長：鈴木勉 090-1728-1693

皆さん 集中日以外も、持ち込みありがとうございます。

知ってた？ライター・乾電池・ペットボトルのキャップ・スプレー缶も市民館入口にて回収しています。

ここへ持ってきてくれば、資源です。（ゴミではありません）

回覧

アクティヴ レディース

刈谷市女性の会連絡協議会情報誌

令和5年度
第3号

一年を振り返って

刈谷市女性の会連絡協議会
会長 角岡由紀美

木々の芽吹きに春を感じる季節となりました。皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、5月には新型コロナの位置付けも2類相当から5類に移行され、アフターコロナのもと、昨年に引き続き環境問題に着目し活動してまいりました。

今年度のテーマを「行動しよう！家庭からのSDGs」とし、女性リーダー研修会や自主講座で学び、「食品ロス削減」や「段ボールコンポスト」を実践してまいりました。7月には段ボールコンポストスキルアップ講座を担当し、11月にはミライク刈谷2023において今までの実践の成果を発表いたしました。これからも未来の地球のため、次世代のためにも、身近なところからできることを一歩ずつ取り組んでいきたいと思います。

また、様々な活動を通して地区の皆様にもご協力いただき、楽しさだけでなく、時には苦労を共有したこの経験は、多くの学びを得ることができました。

一年間ご支援ご協力をいただきました関係各位、地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ミライク刈谷2023

11月5日(日)

家庭からのSDGs～私たちに出来ること～

総合文化センターにて、女性の会が参画した講座が開催されました。前半は小鹿登美先生(西三河野生生物研究会)による「知っておきたい地球環境の話」に続き、「食品ロス削減～私たちに出来ること～」と題して、冷蔵庫に着目した取り組みを紹介しました。

「見やすい使いやすい冷蔵庫を目指して収納を工夫し、中身のメモをドアに貼る。食べ切る。」少しの工夫で無駄買いを防ぎ、食品ロス削減が出来るという取り組みを、参加者の皆様は熱心に聴いてくださいました。



[生活文化委員会]

後半は、生ごみから堆肥

作りができる段ボールコンポストについて武田生子氏（ナチュラルリターンクラブ）の講義の後、女性の会での取り組みを報告しました。段ボールコンポストの実践をきっかけに温暖化を含めた地球環境に強い関心を持ち



ました。地球の未来のために惜しみない努力を続けていきたいと思います。

[貸衣裳委員会]



第二回自主講座 10月13日(金)

『SDGs(環境分野)について』

講師：刈谷市役所 環境推進課

SDGs 17 のゴールを頂点とし、その下に経済圏、社会圏、生物圏が土台となるウェディングケーキ型モデルを用いたお話がありました。生物圏では気候変動への対策

や海と陸の豊かさを守ることを目標にし、社会圏ではエネルギーで脱炭素化の推進と30年後のゼロカーボンティーの目標。そして経済圏では、女性の会でも活動した食品ロスなどに取り組むことで目標に達します。

2021年の日本の達成度は163カ国中21位で、まだSDGsは浸透されていないのが現状で、私たちが実践してきたことが大切だと改めて感じました。



健康づくり教室 11月10日(金)

『今やるべき体操』

講師：健康運動指導士 増谷博史氏

先生の巧みな話術で度々笑いがおこる中、楽しく体を動かしました。下半身ではなく上半身を鍛えて姿勢を良くすると、脚、腰への負担軽減に有効だそうです。指先まで動かしたり、反発力を使ってしっかり伸ばすこと、脳を鍛えたり、心の健康を保つ必要性なども教えていただきました。また、運動は左右同じだけやるのではなく、筋肉の硬くなっている方を多くやるべきであるというお話は新たな発見でした。必要なところを、毎日少しづつ動かし、続けることが、今、そしてこれから先の健康に繋がるそうです。先生のお話を思い出しながら、こつこつと続けたいと思います。



女性の会大会 2月7日(金)

総合文化センター小ホールにおいて、稻垣市長はじめ多数のご来賓にご臨席賜り開催しました。式典では、青少年育成募金の目録贈呈や来年度の新役員紹介、連絡協議会および結婚相談室・貸衣裳室の事業報告、生活文化委員による活動事例発表等を行いました。

また、榎原洋子先生による「女性のパワーを実感するコミュニティ・イノベーションを考える」をテーマに、未来に続く刈谷市『女性の会』がMeToo、WithYou、WeToo、と幅広い連携で誰の『私らしさ』も抑圧しない頼れる『女性ら

の会』についての講義を受けました。当日は、関係各位ならびに各地区から大勢の皆様にお越しいただき深く感謝申し上げます。

＜青少年育成募金 ご報告＞ 募金総額 1,005,386円

皆様の温かいご支援をいただき、今年度は市内幼稚園・保育園・乳児園36施設、児童発達支援事業所8施設へ、大型絵本・エプロンシアターを寄贈いたしました。ご協力をいただきました地域の皆様、自治会関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。



【刈谷市女性の会連絡協議会】

ホームページも是非ご覧ください⇒

<https://kariyashijyoseinokai.jimdofree.com>



～編集後記～

「SDGs」を学びながら共存を考える1年でした。地球、人、自分とのWIN WINで健康な共存について学び、実践し続けることの大切さを感じています。



令和 6 年 3 月 吉 日

重原八幡社

令和 5 年度厄年会奉納品

目 錄

1. 本殿前外灯修繕
2. LED ライト 2 灯

外灯修繕明細

LED 品代及び取替工事費 ￥159, 940

寄贈名入れプレート品代 ￥58, 850

厄年会(令和 5 年度)から奉納金として 20 万円頂き
上記奉納品とさせていただきました。
(不足分 18, 790 円を神社会計より充当しました)



刈谷南中学校新聞

第416号 令和6年3月5日
刈谷市立刈谷南中学校
刈谷市住吉町2丁目1番地
電話0566-21-0025

受け継がれる「伝統」～「姿」で感じる～

校長 葉山 靖彦

いよいよ3年生の卒業のときが迫ってきました。

3年生は、この1年間、刈谷南中学校の最上級生として、たくさんの足跡を残してきました。5月にコロナに関する制限が緩和され、できることが増えてくる中、部活動での声出し応援や応援歌を復活させた激励会、体育大会では縦割り応援、素晴らしいハーモニーを響かせた合唱コンクール等、全校の先頭に立って新たな学校生活の在り方を示してくれました。その姿に続いて、在校生も刈南中を盛り上げてくれました。その中でも、応援歌を

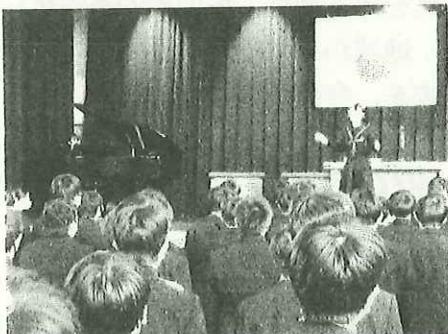


3年生と在校生が中庭を挟んで歌い合う姿、のどが潰れるのではないかと心配されるほどの体育大会での魂の応援には心が震えました。これまでに見たことがないものを創り上げるにはすごいエネルギーが必要です。それを、知恵とアイデアを出し合い、楽しみながら創り上げていく姿は「さすが南中の3年生！」と思いました。

予饗会では『想いを届ける予饗会』として、在校生から3年生へ、3年生から在校生・先生方への歌やメッセージが交換されました。そのやりとりの中で「伝統と新風」をキーワードに取り組んできた3年生の姿が思い出されました。素晴らしい姿で新しい時代を切り拓いてきた3年生に心からのエールを贈ります。そして、在校生の皆さんがその姿を目に焼き付け、その「伝統」の上にさらなる「新風」を吹かせてくれることを楽しみにしています。

全校の思いを一つに卒業式・入学式に向けて

3月1日（金）、卒業式予行演習を行いました。生徒たちは卒業式本番に向けて、所作や返事、歌等の最終確認をしました。全校生徒が卒業式に参加し、集中して真剣に取り組む姿や体育館に響き渡る歌声は、コロナ禍前を彷彿させるようでした。いよいよ6日（水）は卒業式本番です。きっとすばらしい式になることでしょう。



また、2年生代表のメンバーが、ひかりワークス鈴の音の



指導員の方からコサージュの作り方を教えていただきました。南中では毎年、入学式の朝、歓迎の意味を込めて、3年生から新入生に手作りのコサージュを贈ることが伝統になっています。このコサージュは、南中生が「0」の日に行う資源回収で得た収益金で材料を購入し、作った物です。今年も2年生は心を込めて、卒業生のために、新入生のために、そして、自分たちのために準備を進めています。

200日間自転車無事故無違反ラリー達成

2月7日（水）本校が自転車での無事故無違反を連続200日間達成したということで、刈谷警察署で表彰式がありました。学校を代表して交通安全委員長の大岩美沙さんが表彰を受けました。これは、全校生徒が200日間連続して自転車での無事故無違反だったときにだけいただけるものです。これからも、日頃から交通安全に気をつけて生活してほしいと思います。



心温まる合同卒業生を送る会と学習発表会

2月9日（金）本校の10・11・12組の生徒が総合文化センターで行われた市内の中学生合同の「卒業生を送る会」と「学習発表会」に参加しました。大ホールで行われた合同卒業生を送る会では、市内の中学生を代表して、2年生の古庄元さんが総合司会を務めました。学校で何度も司会進行の

練習をしたことで、大きな声ではっきりとした口調で会を進めることができ、会に参加した方からもたくさんお褒めの言葉をいただきました。また、3年生も大きな声で返事をし、自分の目標をしっかりと発表することができました。



その後、小ホールに移動し、中部地区の中学生とともに学習発表会に参加しました。本校の出し物は「劇 Nanchu Wonderland」でした。事前に時間をかけて丁寧に動画を撮影し、当日はスクリーンに投影するという方式でした。15分という短い時間でしたが、何度も台詞や動きの練習をすることで、素敵な発表会になりました。

ボランティアで活躍する南中生

2月11日（日）住吉小学校で行われた元刈谷地区ニューススポーツ体験会の補助係としてのボランティア活動がありました。1、2年生15名ほどが参加しました。係の方から説明を受けた後、器具を持ったり、参加者の案内をしたりと活躍しました。

地域からのボランティアの依頼に積極的に参加する刈南中の伝統を、今後も続けていってほしいと思います。



思いを届けた予饗会～みんなの気持ち、響けメロディーで～



2月14日（水）総合文化センター大ホールで、予饗会が行われました。4年ぶりにコロナ禍の制限が解除され、学年合唱や3年保護者の参観も可となり、以前に近い形で行うことができました。オープニングの特別演目で行った音楽部の演奏では、有志ダンスと共に演し、突然のアンコールでは3年生も飛び入り参加して、大いに盛り上りました。その後の生徒会執行部の出し物でも、3年生の南中への熱い思いや各学級の様子がよく伝わってきました。

在校生は、この予饗会のために限られた時間で何度も練習をし、すばらしい歌声で卒業生に感謝の気持ちを伝えました。卒業生は、自信に満ち溢れた迫力の合唱で、在校生にお礼の気持ちを伝えました。今回の予饉会も、実行委員会を中心に、全校生徒の演奏や演技で、「卒業生のために」「在校生のために」と感謝や思いを届け合う心のこもった会になりました。



PTA会長 木村 浩毅

PTA活動を振り返って



新型コロナウイルスの影響による様々な規制から日常生活を取り戻しつつある中、令和五年度刈谷南中学校PTAは「夢に向かって明るく生きる子どもを育てよう」◆親子で触れ合い、考え、未来を拓くPTA活動を進めよう◆をテーマに活動を開始しました。

おかげさまで今年度は多くの活動を再開することができました。これも会員の皆様のご協力とPTA役員の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

厚生委員会においては携帯スマホ教室の開催や刈谷南中学校の栄養教諭を招いての講話などの活動を通して生徒と

保護者が一緒に学ぶ場を設けることができました。

研修委員会では昨年度は県内知多方においての研修で

したが、令和五年度は三重県伊勢市伊勢神宮まで出かけることができました。

校長先生にも参加していただき、また

多くの保護者の皆様にご参加いただきました。日帰りの研修旅行ではありましたが、伊勢神宮参拝や昼食に伊勢の名物料理をいただくなど学校外での活動を通して私も含め保護者どうしの親睦を楽しく深めることができました。

PTA高校見学も六月と十月に開催することができました。各

高校と私立高校の違いなどを理解することができました。

文化委員会では十一月に開催した文化教室において地元の企業の方を講師に招いて門松作りを体験することができます。

私も参加させていた

だきましたが、門松のいろいろな意味などを学ぶことができ、とても有意義な体験をすることができました。

作成し

た門松は実際に我が家に飾ることもできました。できるこ

とならば来年は自分の力で門

松作りに挑戦してみたいと思っています。

PTA役員、実行委員によ

る学区内危険調査や夜間街頭補導も今までと同じように実施することができます。

刈谷市PTA連絡協議会やその他の対外的な会議、講演会も

今年度は開催され、PTA役員の方には様々な会議にご参

加いただきました。

また、令和五年度PTAと

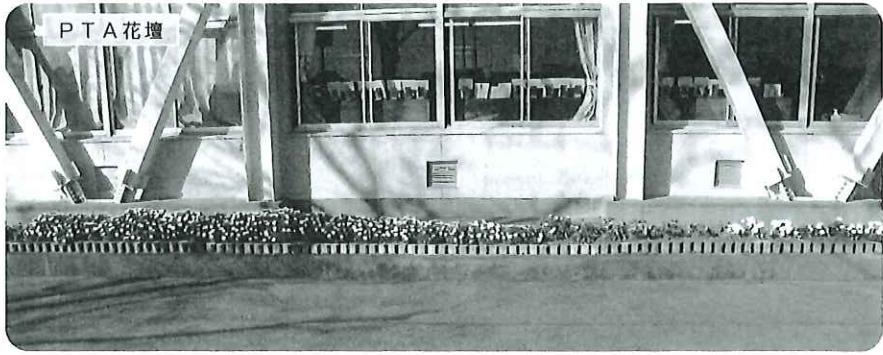
して、学校に「PTA花壇」を寄贈させていただきました。

子どもたちの心豊かな学校生

活を送る上での一助となれば幸いです。

最後になりますが、様々なPTA活動に対し、ご多用の中ご協力いただきました葉山校長先生をはじめとします

刈谷南中学校の先生、職員の皆様に対しまして心より感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。



KARINAN



子どもたちの活躍を見つめて

入学式に参列して



部活動を参観して



選手権大会選手

激励会を参観して手

九月二十一日(金)に新人戦大会

体育大会を参観して



十月五日、予定より一日遅れましたが、たくさんの来賓や保護者の皆様があたたかく見守る中、体育大会が行われました。不安定な天候でプログラムの一部変更がありましたが、最後まで真剣に全力で競技に取り組む生徒たちの姿

十一月一日(木)、ピンと張り詰めた緊張感の中、合唱コンクールが開催されました。ここ数年は、コロナ禍で歌いづらそうなマスク姿でしたが、今年は大きく口を開けた明るい表情を見ることができました。学年合唱では、一学年全員の大きな声量からクラス合唱への気分の高まりを感じました。学級紹介では、毎日の練習に取り組んだ様子が分かりました。平和を願う歌からは強い想いや祈りが伝わり、優しいバラード

合唱コンクールを参観して



すばらしい姿を見ることができました。そして、今までの制限で出すことができなかつた声を、まとめてこの時に出しているような空気を振るわれる熱量の応援に圧倒されました。「南中 SHOW TIME◆」伝統と新風の「一刀流◆」のスローガンのとおり、脈々と伝えられた体育大会の復活と、新しい時代を創つていく決意が示された大会だったと感じています。この日に向けて生徒たちにご指導いただき、また準備していただきました先生方に感謝申し上げます。

これまでの苦しい練習を思い出しながら、一生懸命に練習に取り組み、精いっぱい努力する子どもたちの姿を、保護者も見ることができたと思います。顧問の先生から資料をいたばり、訓練や活動方針のお話を伺うことで部活動参観、三年生は中学校生活最後の大成となる選手権大会に向けて、熱心に取り組んでいました。

二年生は先輩の姿を見て学び、入部したばかりの一年生は基礎練習に取り組んでいました。顧問の先生からとても熱心に指導していただき、最後にいつもサポートしていただきました。先生方に感謝申し上げます。

思います。先輩方から代々受け継がれている「伝統」と「新風」に込められた思ひを、「一人一人が自分なりの考え方を見つけ、伝えていけるよう、いろいろなことに挑戦し、楽しく学び成長していく姿を見守っていきたい」と思っています。

七月七日、選手権大会に向けて、選手激励会が行われました。二年生にとっては最後の大会です。「記録だけが描かれた横断幕が体育館のステージ上に輝いていました。

少しがんばった表情で選手が入場し、生徒全員が真剣な表情で、マナーよく整列していました。各部の部長による決意発表では、各部の目標や作戦、日々の練習方法の工夫、今まで支えてくれた先生方や後輩、家族への感謝の気持ちが伝わってきました。

後輩の応援団による元気いっぱいの応援歌には熱いものがこみ上げてきました。

選手たちが今まで積み重ねてきた努力の成果を發揮し、チームの仲間と共に全力で戦い、思い出残る最高の大会にしてほしいと思いました。最後にいつもサポートしていただき、先生方に感謝申し上げます。

自分たちの力を信じて成果を存分に発揮し悔いのない大会にしてほしいと思います。

この日は、心から思いました。この日に向けて生徒たちにご指導いただきました先生方に感謝申し上げます。

に向けての「選手激励会」が行われました。今年度のスローガンは「姿で魅せる、我らのスタートダッシュ」でした。美術部が作成した看板が各部の部長の背中を押す中、マイクを握りました。体育館の中に響きわたる声は、今までの部活動で得た自信を表していたと思います。

二年生を中心とした選手たちの熱意に応えよう、三年生の有志による応援団の気合のこもった応援は、とても勇気付けるものになつたと思います。

二年生を中心とした選手たちの熱意に応えよう、三年生の有志による応援団の気合のこもった応援は、とても勇気付けるものになつたと思います。

中、研修視察旅行を実施しました。総勢三十二名に参加いただき、大型バスにて伊勢神宮へ向かいました。行きのバス車中ではビンゴ大会を実施し、大いに盛り上がり、伊勢神宮に到着しました。内宮へ参拝した後、

PTA研修視察旅行に参加して

研修委員会

ドはハーモニーが重なり合い、美しいメロディとなりました。今年、改めて強く感じたことは、合唱は「聴く」だけでなく「見る」ものだということです。指揮者は曲の柔らかさ、力強さを全身で表現していました。伴奏者は時に優しく時に強く、歌声を込み込んでいました。自分達の合唱をつくりあげようと、一人一人が真剣な眼差しで心を一つにして歌つ姿。クラスの団結力を感じられるすばらしい合唱コンクールでした。



T A文化教室を実施して

文化委員会

PTA文化教室を実施して



参加者全員で郷土料理のてこね寿司や伊勢うどんの昼食を堪能しました。その後は自由行動でおけ横丁・おはらい町を散策し、買い物や食べ歩きを楽しみました。日帰りの研修視察旅行ではありましたが、保護者同士の親睦を深めるよい機会となりました。

令和5年度

刈谷南中学校「PTA活動」一覧

- 4月 第1回役員・実行委員会
第1回各委員会
第1回学年部会
授業参観・PTA総会
市P連総会

- 6月 部活動参観
第2回役員・実行委員会
三河P連定期総会
県P連年次総会
第1・2回進路説明会
PTA高校見学会
【刈谷工科・星城】
学区内危険箇所調査
PTA役員・実行委員・職員懇親会【中止】

- 7月 選手権大会選手激励会
参観
家庭教育部会講演会
西三河地区人権教育指導者研修会
三者懇談会
夏休み夜間街頭補導(万燈祭)

- 8月 夏休み夜間街頭補導(わんさか祭り)
9月 子どもたちの健やかな成長を願う会
いじめ・不登校教育講演会
新人戦大会選手激励会参観

- 10月 体育大会参観
PTA研修視察旅行
【伊勢志摩方面】
PTA高校見学会
【岡崎城西・安城学園】

- 11月 家庭教育部会研修会

- 【刈谷市歴史博物館】
文化学習会(合唱コンクール)参観
生活指導懇談会
西三河南地域『地域のつどい』

- 12月 市P連情報交換会

- 三者懇談会
PTA文化教室「ミニ門松教室」開催
学校保健委員会

- 1月 第3回役員・実行委員会
スマホ教室

- 2月 予餞会
刈谷市学校保健大会
三河小中学校PTA研究発表大会【オンライン開催】

- 3月 第77回卒業証書授与式
PTA会報第76号発行
第4回役員・実行委員会
会計監査会
新旧役員・実行委員事務引き継ぎ会

※紙面の都合上一部省略させていただいている行事があります。ご了承ください。

新しい一年に幸運が訪れることと「これ南中で作ったんだよ」と親子の会話の一つになればと願っています。ご参加された皆様ならびにご協力いただきました先生方、年末のご多忙



学校保健委員会を実施して

厚生委員会

十二月十九日(火)栄養教諭の小澤えよう◆間食のとり方◆というテーマで、PTA厚生委員、保護者、児童生員を対象にお話を伺いました。普段食べているおやつのカロリーをわかりやすく説明されたり、原材料からどんな食べ物かを当てるクイズをしたりするなど、子どもたちも興味をもち、楽しく参加することができます。普段、気軽に食べているおやつですが、油分や糖分を多くとり



用の中で指導いただきました久野様に心より感謝申し上げます。

すぐれているなど感じました。子どもたちはまだまだ成長過程ですので栄養に気をつけ、健康な体を維持できるようサポートしなければと改めて考

えさせられるよい機会となりました。

図書のご紹介

- ◆書名…『物語の種(たね)』
◆筆者…有川ひろ
◆出版社…幻冬舎

人々があらゆる自粛を余儀なくされたコロナ禍、ハリー・ポッターで有名な作家J.K.ローリングは「イッカボッグ」という作品を子どもたちに向けてネットで無料公開しました。今回紹介する本の作者である「有川ひろ」もまた、家中にいながら作家として世の中のために何かできないかと考えた一人でした。そして思いついたのが読者がから物語のアイデア、つまり「種(たね)」を募集すること。こちらの本は、みなさんから募集した「物語の種(たね)」をもとにづられた短編集です。

どの話も読後感すっきりですが、特に「我らを救い給いしもの」がおすすめです。学生時代に「推し」の話で友達と盛り上がった時間は一生の宝になります。

- ◆書名…『さみしい夜にはペンを持て』
◆筆者…古賀史健
◆出版社…ポプラ社

主人公はタコのタコジロー中学生3年生。同級生はウツボくんやアナゴくんなど海の仲間たちで、海の中にある中学校という設定で話は進んでいます。

すぐに顔が真っ赤になってしまふタコジローはクラスでいじめられています。そんなタコジローが、ヤドカリのおじさんと出会い「書く」ことで自分に向かう方法を学んでいます。

毎年読書感想文に苦労している人必読! 文章の書き方だけでなく、毎日の出来事について客観的に考える力も身につく一冊です。

- ◆書名…『スマホアプリはなぜ無料? 10代からのマーケティング入門』

- ◆筆者…松本健太郎
◆出版社…河出書房新社

「無料で始めたスマホゲームなのに、気がついたら課金をしていた」「限定発売の言葉にせられてついいつ買ってしまった」こんな経験がある人はいませんか? 騙されたわけではないのについお金を払ってしまう。その理由を知るために世の中のしくみを知る必要があります。

作者である松本健太郎が、14歳に向けて分かりやすく世の中のしくみを解説。大人に利用されないための、賢い大人になるための大切な人を守るための知識がたくさん詰まった一冊です。



教育雑感

「伝統の『シンカ』」

校長 葉山靖彦



令和五年五月。新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、二年余り続いた数々の制限が緩和されました。学校生活においても生徒の仲間と歓談する姿や笑い声があふれるようになり、新しい時代の幕開けを感じる年となりました。

そんな中、生徒会が「伝統の

月は長く、最上級生の三年生ですらコロナ前の刈南中の姿を見たことがありません。教職員も約半数は経験しておらず、学校行事も以前の資料や動画を確認しながら計画を立てていく状態でした。

そんな状況の中でも、生徒の力はたくましく、以前のものをそのまま再現させてくれるようになり、新しい形を創り出してきました。体育大会では、声

でそれぞれの思いをぶつけあいながら、よりよいものを目指して寸暇を惜しんで練習する姿がありました。校舎のあちこちから響き渡る歌声に心が熱くなりました。コンクール本番の結果発表で受賞した生徒たちを迎えてくれて、校舎の花壇が生き生きとした。PTA花壇が生き、きれいな花が咲きました。PTAの皆さんも、学校行事の取材やサボートなど、たくさんの方で、生徒・学校を支えています。他にも、学校行事の場面で、生徒・学校を支えてください、心より感謝申し上げます。これからも、家庭と学校が手を取り合って、子どもの成長を支えていきたいと思います。

これが明け、寒さ厳しい中、三年生は受験に向かい大変な時期を過ごします。春の暖かな日差しを受ける頃には新たなステージへと進んでいきます。PTA会報の取材記事から、新型コロナウイルス感染症から、やっと解放され、制限なく学校生活が送られたことなどがわかります。PTA会報の取材記事から、新型コロナウイルス感染症から、やっと解放され、制限なく学校生活が送られたことから見えてきたものがあるとすれば、「あたりまえ」であったことへの「感謝」かもしれません。三年生は、卒業後の新たな環境で「あたりまえ」は、進級して成長していく中で「感謝」を感じる力がついてくるでしょう。

刈谷南中学校の校訓は「新風」です。新しい風を巻き起こすためには何が必要なものはなんでしょうか。「勇気」かもしれません。「正義」かもしれません。「感謝」かもしれません。生徒だけではなく、先生、地域PTAが刈谷南中学校に多くの「新風」を巻き起こすことを祈念して編集後記とさせていただきます。

PTAの皆様におかれましては、新しいPTA活動の在り方を考え、「刈南中の生徒のために」という視点で工夫しながら取り組んでくださいま

して。高校見学会や研修視察旅行も参加人数が増え、親睦を深めながら見識を広げることができます。他にも、学校行事の取材やサボートなど、たくさんの方で、生徒たちを迎えてくれています。PTA花壇が生き、きれいな花が咲きました。PTAの皆さんも、学校行事の取材やサボートなど、たくさんの方で、生徒・学校を支えています。他にも、学校行事の取材やサボートなど、たくさんの方で、生徒・学校を支えています。



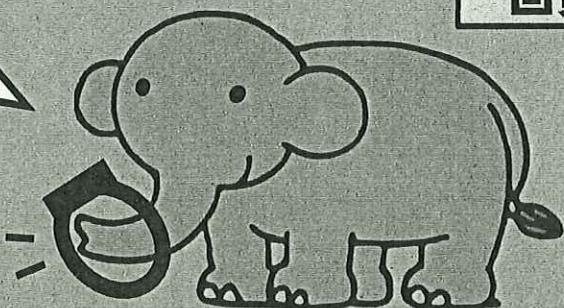
自転車盗が 倍増!

刈谷駅前
パトロール

刈谷警察署
地域課発行
0566
22-0110

回覧

刈谷市内で
自転車盗が倍ゾウ!
カギかけるゾウ!



※ 令和5年中、刈谷市内において自転車盗被害が296件発生し、
前年と比べて138件増加しました。

令和5年中刈谷市内駅駐輪場 被害ワーストランキング

- | | | |
|----|------|-----|
| 1位 | 刈谷駅 | 57件 |
| 2位 | 東刈谷駅 | 21件 |
| 3位 | 富士松駅 | 19件 |

刈谷駅駐輪場で自転車盗が
多く発生しています。
カギをかけて防犯対策を!!



刈谷駅前交番犯罪認知状況

令和6年1月の刑法犯認知件数
27件(前年 14件)

主な犯罪認知件数

- 自転車盗 12件(前年 7件)
- 車上ねらい 1件(前年 0件)
- 万引き 3件(前年 3件)

※件数は刈谷警察署独自の手集計であり、公表値とは異なります。

住吉っ子



令和6年2月26日

第10号

住所：刈谷市住吉町3-70

電話：21-5831

最後まで頑張り続ける子どもたち

2月9日に刈谷市特別支援教育推進協議会の行事が行われました。この協議会は、刈谷市小中学校の特別支援学級に在籍する子と、刈谷市に住所を有し特別支援学校に通う子の支援を目的とした会です。午前中には小学6年生、中学3年生の卒業をお祝いする「合同卒業生を送る会」がありました。本校の6年生は3人。舞台の上で、中学校に向けて頑張りたいことや、今までお世話になった人たちへ感謝の言葉を堂々と述べることができました。お昼からは中部の4小学校と1中学校が集まり学習発表会を行いました。住吉小学校は「くすのき畑でうんとこしょ」と題し、みんなで育てた野菜の紹介を写真と一緒に分かりやすく発表し、曲に合わせて大根の収穫の様子を表現しました。たくさん練習した成果がしっかりとできました。一人一人が自分の役を堂々と演じました。大きな声ではっきりと台詞を言うことができました。当日急な病気で休んでしまった子もいましたが、その子の台詞も他の子が代わって行いました。一人一人の成長を実感できる発表会になりました。

2月14日にはクラスで力を合わせて競う今年度最後の行事とも言うべき長縄集会が行われました。長縄集会に向けて、縄跳び週間が設けられ、長い放課も使ってクラスで練習します。その間の体育も縄跳びを行います。長縄は、できるできないがはっきりわかってしまうし、自分の失敗が記録に直接響いてしまうので、できない子にとっては、とても苦しいスタートでした。記録を狙えば狙うほど、一生懸命になればなるほど、失敗した子への言葉がきつくなり、ぎすぎすした雰囲気になったクラスもありました。学級会で話し合ったり、朝の会で先生とともに悩んだりしたクラスもありました。「他のクラスに勝つことよりも自分たちの自己ベストを目指そう!」「失敗した子を励まそう!」子どもたちはいくつかの山を越え、みんなで頑張ることの大切さを学んでいきました。「ドンマイ!」「だいじょうぶだいじょうぶ!」いつしかそんな言葉が運動場に響きました。苦手な子には周りの子が励まし、優しくアドバイスしたり、入るタイミングを教えるために背中を押したりしてくれる姿がたくさんになりました。長縄集会本番、真剣な顔で縄を跳ぶ子と、手を握って祈りながらそれを見守る子の姿がありました。3分間が終わって記録を聞く子どもの歓声と喜ぶ姿は忘れられません。たとえ、他のクラスには負けてしまっても、チームのベスト記録を出して大喜びする子どもの顔は満足感にあふれていました。

もう少しで今の学年、クラスを終えます。多くのクラスで卒業式や修了式までのカウントダウンの取組がはじまっています。その中、子どもたちは最後まで自分を高める努力を重ねています。次の4月、今よりもさらに成長し、輝く瞳で新しい生活を見つめる子どもたちの姿を楽しみにしています。保護者の皆様にも、子どもたちが自信と希望をもち、次に向かっていくよう、さらなる子どもへの励まし、住吉小学校へのご協力をお願いいたします。

(校長室の窓から)



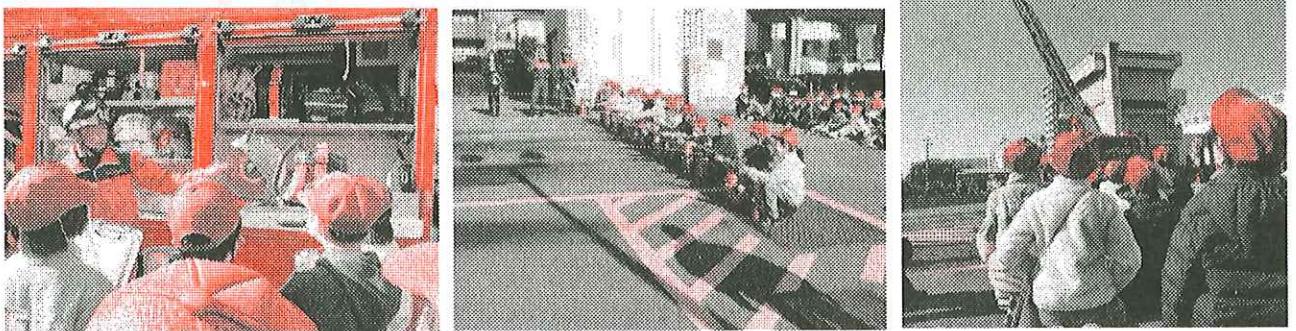
長縄集会

2月6日、長縄集会を行いました。どのクラスもこれまでの練習の成果を発揮しようと、声をかけ合い、自分たちの記録の更新を目指しました。



3年生 消防署見学

2月7日、3年生が消防署の見学に出かけました。はしご車や救急車を見たり、放水体験をしたりしました。「消防士の服は熱さに耐えることができ、燃えにくい」「救急車の中にはベッドや AED などがあった」「天ぷら油の火災に水をかけると爆発する」など、子どもたちは多くの発見をしました。そして、「消防士さんのようにてきぱきと行動できるようになりたい」「学んだことを家族に伝えたい」などの思いを抱いたようです。忙しい中、丁寧に説明をしてくださった消防士のみなさんへの感謝の言葉もたくさん聞こえてきました。



4年生 ハンドボール体験授業

2月7日、トヨタ車体ハンドボール部プレイブキングスのみなさんが体験授業をしてくださいました。昨年に続き、2回目の体験授業となります。パスやシュートの仕方などを優しく丁寧に教えてくださり、4年生の子どもたちは、笑顔いっぱいで楽しく活動していました。子どもたちにとって、たいへん貴重な体験となりました。

